

報告日: 2009 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 1 班 報告者氏名: 豊田 裕則

1. テーマ: 「名古屋市の自動車から排出される CO2 を削減するには」

2. 入手できた内容

〈インターネット〉

- ・名古屋市における自動車からの CO2 排出量(1990~2003 年)
- ・名古屋市内の自動車保有台数の推移 (昭和 59~平成 17 年度)
- ・名古屋市内の交通量の推移 (昭和 52~平成 17 年度)
- ・名古屋市の CO2 の排出ガス削減に対する対策

3. 来週以降の活動予定

11/5 調査・まとめ (各自で入手した資料をもとに自分たちが提案する CO2 削減方法を話し合う)

- ・最新のデータの収集
- ・エコカーに関するデータの収集
- ・学外調査に関する検討

11/12 パワーポイント作成

11/19 中間報告会

報告日: 2009 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 2 班 報告者氏名: 河合 基樹

1: (タイトル): 中部国際空港の地盤沈下対策について

2: (テーマ説明): 空港内における地盤沈下について

入手できた情報: 関西国際空港の地盤沈下の状態

3: (調査方法): I インターネット等による情報収集

II 現地調査

4: (全体の日程)

⑤10/31 情報収集/パワーポイント作成

⑥11/05 情報収集/パワーポイント作成

⑦11/12 現地調査/パワーポイント作成

⑧11/19 中間発表

⑨11/26 再調査

⑩12/03 再調査/ポスター作成

⑪12/10 ポスター作成

⑫12/17 最終報告会

⑬12/24

⑭01/07

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。

報告日: 20 09 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 3 班 報告者氏名: 杉本 英治

タイトル: 名古屋市のペットボトルのリサイクルの現状について

① この1週間(この日も含めて)の活動の概要

- どのような方法で、どういった内容を調査して、何が得られたのか

前回に訪問を予定していた工場 2 か所が考えていたよりも遠すぎるので、他の工場を探し、株式会社シーピーアール(学校から車で3, 40 分程度)を見つけたので、訪問先をそこに変更しました。

- 予定・期待していた内容・情報が(どの程度)得られたのか

予定では今日と次回で質問内容を決めることと工場見学のアポ取りをするつもりでしたが、前述した通り今回は訪問先の変更、ペットボトルのリサイクルの現状を調べることに使ってしまいました。

- 今後の調査の方針について

予定では、12 日に工場見学で、今回と5 日に質問を考えるつもりでしたが、訪問を中間発表以降に変更します。

② 来週以降の活動予定

11 月 5 日 中間発表のパワーポイントの作成を開始、作成に必要な情報をインターネットで集める。

11 月 12 日 同上

11 月 19 日 中間発表

11 月 26 日以降 訪問について決定(質問の設定、アポ取り)、訪問

報告日：平成 21 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ： 4 班 報告者氏名： 小川 竜治

1. タイトル: 迫りくる巨大地震(仮)

2. 説明

近年来るといわれている東海大地震が及ぼす被害の規模とそれに対して名古屋市がどのような対策をとっているか。

3. 調査方法

- ・東海大地震の名古屋市へ及ぼす被害(ライフライン・建造物)について調べ、その被害にどのような対策をとっているかを名古屋市で地震対策の研究をしている施設に訪問し、局員に聞く。
- ・名古屋市港防災センターを訪問する予定。

4. 全体の日程

10/31 東海大地震の被害について調べる

11/5 調査報告まとめ

11/12 防災センター訪問

11/19 中間報告会(問題提起)

11/26, 12/3, 12/10 問題解決の提案検討(アドバイザー教員に相談)

12/17 報告会

12/24 報告書作成

1/7 提出

報告日: 2009 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 5 班 報告者氏名: 小松 慎 紘

テーマ: ^{伊勢湾}名古屋港の水質の変化による生態系の変化

来た人数が少なかったということもあり、1人1人が別別のことを調べた。

パワーポイント

それなりに、枠組みができてきたと思う。

名古屋港

名古屋港で、名古屋港の概要や、現在行われている取り組みなどについて調べることができた。

しかし、PH などの具体的な数値としてのデータは出てきたものの、名古屋港の生物の変化などのわかりやすい“生態系の変化”という情報は、見つけることができなかった。

伊勢湾・セントレア

伊勢湾についての概要や、戦後汚れてきたという情報は集まったものの、数値データや名古屋港と同様に、生態系の変化といった情報は見つけることができなかった。

セントレアについても、環境への対策や配慮といったようなプラス面のことはたくさん情報を集めることができたが、“セントレアができたことによる生態系の乱れ”や“セントレア周辺に住む生物の変化”などといった、マイナス面につながるであろうデータは、見つけることができなかった。

今後の課題

情報がまだ足りないので、もっと多くの情報を調べたい。

マイナス面の情報を調べたい。

報告日：2009年10月31日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ:7班 報告者氏名: 堀上

前回の発表で注意されたタイトル、調べる具体的な内容&場所、実地に行く場所、行くならしっかり計画する事などと今回の発表報告をする内容を今回はする。

タイトル: 踏切遮断による悪影響

今現在、名古屋では地下鉄、新幹線は近代化してほとんど踏切遮断が無いのに電車（名古屋鉄道）は開かずの踏切、踏切事故などで交通渋滞などの悪影響が多く見られる。

名古屋で開かずの踏切で有名なのが熱田区（神宮前1号遮断機）である。

神宮前1号は踏切が5分くらいの通行遮断は普通で遮断機が落ちても先を急ぐ人が踏切を通過するので、たまにルールを守れない人が遮断機が落ちているのに通行し・・・電車が発車してスピードが出てないため人身事故は少ないが、昔は遮断時間を短かったので人身事故が多くみられた。

そこで最速緑区（鳴海）、昔は鳴海も神宮前と同様で鳴海は立体交差化をして渋滞や遮断事故が解消された。

このことより鳴海を例にとり神宮前を立体交差化したらどうなるか考えていく。

日程

11月5日 今日の引き続き調査
11月12日 パワーポイント作成
11月19日 発表

報告日: 2009 年 10 月 31 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 8 班 報告者氏名: 西川 北出

- 1 私たちを襲う水の脅威
～高潮から命を守れ～
- 2 都市に起こる高潮、その避難経路および避難場所から被害を見つけだし、安全な方法を考える。
- 3 今日からパワーポイントの作成にかかるので、各自の役割分担を話し合った。
高潮の浸水測定の図を検索した。
高潮の被害と特徴をインターネットと資料で調べ、インターネットで調べた資料をコピーし次の授業までにまとめパワーポイントの作成に取り掛かれるようにする。
- 4 現在のところ日程の変更なし。